

教員免許状更新講習

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動指導法や安全管理のポイントについて実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取り扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

○ 実施期間

平成30年8月22日（水）～平成30年8月24日（金） 2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

平成31年3月31日及び平成32年3月31日に修了確認期限を迎える小・中学校教諭40名
10名／ 40名

○ 活動プログラム

8月22日〔水〕	8月23日〔木〕	8月24日〔金〕
開会行事・オリエンテーション 講義「学校教育の現状と課題」 室戸市教育委員会教育長 谷村 正昭 氏 講義「体験活動の安全管理」 次長 瀬沼 健 昼食・休憩 講義「体験活動の意義と学習指導要領」 高知大学地域協働学部助教 齊藤 雅洋 氏 講義・実習「体験活動の技術と指導①」 (野外炊事) 企画指導専門職 谷岡 守 入浴・就寝	起床・清掃 朝食 講義「学校における安全な海の活動①」 企画指導専門職 松下 泰山 昼食・休憩 講義「学校における安全な海の活動②」 企画指導専門職 松下 泰山 実習「防災に役立つロープワーク」 主任企画指導専門職 竹島 稔 夕食 入浴 情報交換会 就寝	起床・清掃 朝食 退所点検 講義「体験活動の教育活動への活用」 主任企画指導専門職 竹島 稔 演習「体験活動の技術と指導③」 次長 瀬沼 健 昼食・休憩 履修認定試験 閉会行事 解散

2. 活動の様子

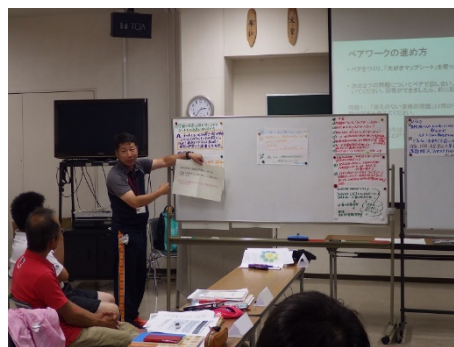
8月22日（水）＜1日目＞



講義「学校教育の現状と課題」



講義「体験活動の安全管理」



講義「体験活動の意義と学習指導要領」



講義・実習「体験活動の技術と指導①～野外炊事～」

1日目は「学校教育の現状と課題」や「体験活動の安全管理」「体験活動の意義と学習指導要領」「体験活動の技術と指導①」の講義と実習を実施した。講義「体験活動の意義と学習指導要領」では、体験活動の意義についての講義とともに、ペアワークをきっかけとして「指導者に求められること」について確認していた。また、体験活動の技術と指導①では、野外炊事の運営上の留意点や用具の取り扱いや環境の整理等、リスクマネジメントの重要性について講義と実習を通して再認識していた。

8月23日（木）＜2日目＞



講義「学校における安全な海の活動①」



講義「学校における安全な海の活動②」



実習「防災に役立つロープワーク」



実習「防災に役立つロープワーク」



2日目は、台風20号の接近により暴風警報や波浪警報が発令され、予定していたシーカヤックとスノーケリングの実習を中止することになった。午前の講義は、「学校における安全な海の活動①」で、ワークショップを実施した。海の活動を実施するにあたっての事前や活動中の安全指導について小グループや全体で話し合った。午後の「学校における安全な海の活動②」では、事故事例等やシーカヤック、スノーケリングについての指導の留意点についての講義だった。また、実習「防災に役立つロープワーク」では、まき結びやもやい結び等の結び方を体験した後、それらの結び方を使ってブルーシートでのテント設営に挑戦した。班で互いに話し合い、工夫し合いながらテント設営をしていた。

8月24日（金）≪3日目≫



講義「体験活動の教育活動への活用」



演習「体験活動の技術と指導③」



演習「体験活動の技術と指導③」

最終日は、講義「体験活動の教育活動への活用」と演習「体験活動の技術と指導③」「履修認定試験」だった。講義「体験活動の教育活動への活用」では、高知県や徳島県、滋賀県の教育課程についての情報交換や講習で体験した活動をどの教科に位置付けることができるのか話し合った。ロープワークは、総合的な学習の時間や図画工作、社会科等での教科で実施できるのではないかという意見も出た。演習「体験活動の技術と指導③」では、「体験→ふりかえり→気づき→改善　そして次の段階へ」をキーワードに仲間づくりゲームをした。3日目ともなると受講者同士のコミュニケーションも深まり、大いに盛り上がった。体験活動の効果について実感することができた演習であった。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・免許更新講習だけでなく、年次研等でこういった内容のものをより多くの先生方に体験してもらいたい。また、管理職研修等でも実施してはどうですか。
- ・講習が少人数であったためワークショップやグルーピングで課題を考えることができとても有意義な研修でした。高知県以外の先生方とも交流ができてよかった。
- ・台風で海に行けなかったのが残念だった。海に行けなくても実際に道具をつけてみるとか、パドルの動かし方をやってみる等の体験がしたかった。
- ・悪天候の際の体験活動を行ってもらいたかった。
- ・海の活動ができなかったのが残念です。

○ 事業の成果

- ・実施できなかった講義・実習以外は受講者の評価もよかった。
- ・講習中の雰囲気がよく、ワークショップやコミュニケーションゲームでは、活発な意見交換が行われた。

○ 事業の課題

- ・海の活動については天候に左右されるため、荒天時の講義の準備が不可欠である。特に、海の活動を体験し今後の教育活動に活かしたいと考えている受講者がほとんどだったため、代替プログラムが今後の課題である。
- ・昨年度2月実施の講習会は1泊2日で49人の参加があったが、今回は2泊3日で10人となった。1泊2日の日程での講習会を希望する教員が多いようである。日程についても検討していく必

要があると思われる。

- ・ 今回の成果と課題を踏まえ、参加者の要望も取り入れながら充実した講習になるように運営の改善、講習内容の検討を行っていきたい。